

概 況

## 概 況

### 1 畜種別取扱高

平成2年中の当市場における畜産物の総取扱高は、頭数57万2千頭、重量12万トン、金額1千362億円で、対前年比は頭数では3%減、重量で3%の減、金額で4%の減となった。

畜種別にみると牛の取扱高は頭数12万8千頭、重量8万3千トン、金額1,191億円で、対前年比は頭数では1%減、重量では3%減、金額では4%の減であった。

豚の取扱高は頭数44万3千頭、重量3万7千トン、金額171億円で、対前年比は、頭数で3%減、重量で4%減、金額では2%減であった。(表1参照)

### 2 産地別取扱高

牛では頭数・重量では千葉が第1位、金額では栃木が第1位であり、昨年3位の宮城が5位となったほかは、順位は昨年と比べあまり変化がない。県別取扱高では、三重県が40%増となり静岡県が40%減となったほかは昨年並の取扱高に終わった。輸入部分肉は重量で8%減、金額で14%減少した。

豚では昨年に続き千葉が頭数・重量・金額とも第1位であり、取扱高が20%減少した茨城は2位岩手といれかわり3位となった。他県の取扱高では福島・長野・宮城が30~40%と大きく減少し、山形・群馬・新潟・静岡が10~30%増加するにとどまった。(表2参照)

### 3 年間市況

牛の全国取引頭数は137万4千頭で昨年と変わらず、このうち東京市場の取引頭数は12万8千頭で対前年比1%減であった。年間平均価格は1,412円で平成元年に比べ20円安と1%低くなっている。これを月別にみると、1月は1,413円と前年同月比111円安で始まり、6月まで対前年比3~9%安で推移したが、7月以降前年比1~6%の幅で上昇に転じ、12月には前年比40円高の1,565円で終わった。

また豚の全国取引頭数は2,097万4千頭で対前年比2%減で、このうち東京市場の取引頭数は44万3千頭で対前年比3%減であった。年間平均価格は453円で平成元年に比べ11円高と3%高くなった。これを月別にみると、1月は399円と前年同月比16円高で始まり、5月から9月まで500円台に乗せ、8月には前年比14%高579円と年間の最高値となったが、10月以降前年比8~9%安となり、12月には374円と前年比35円安で終わった。